



SL津和野稲成号（JR山口線 新山口～津和野）
正月三が日、太鼓谷稲成神社参拝列車として臨時運行される。
C56牽引によるSLは、3月～11月には「SLやまぐち号」として運行され観光客に人気を博している。

CONTENTS

2	会長 新年のご挨拶
3	中国経済産業局長「中国地域経済活性化へ向けて」
4～5	島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会・交流会開催
5	島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出
6	しまねソフト産業ビジネス研究会
6	RubyWorld Conference 2010開催
6	第14回親睦ゴルフコンペ開催
7	講演会等活動報告（今後の予定と実績）
7	協会だより
8	会員社紹介（第10回）株式会社アイテック・株式会社NTTファシリティーズ中国島根支店

新年のご挨拶

社団法人 島根県情報産業協会
会長 多久和 厚



新年、明けましておめでとうございます。

今年の干支は「卯」です。寅（アメリカ）と辰（中国）の間を上手に走り抜ける年なのかもしれません。ところで私は、「年男」です。

今回は年頭にあって「環境問題と情報産業」についてお話をしたいと思います。

GNPとGNH（国民総生産と総幸福）

地球は46億年前に誕生したと推定されています。地球誕生から今日までを1年間に置き換えてみると、人類は12月31日23時58分に誕生した事になるようです。そして、産業革命以後膨大なエネルギーを消費し始めたのは、今から2秒ほど前のことです。この2秒の間にエネルギー消費は急増し環境は破壊され、今や「地球一個では足りない」状況です。有限な資源を奪い合ってまで、「幸福」を求めたとしても「無縁社会」が待っています。こんな社会に、子ども達や若者は明るい未来を感じるでしょうか。

ブータンは国民総幸福（GNH：Gross National Happiness）を、国家の目標として内外に宣言しています。国民総生産（GNP：Gross National Product）では、ありません。世界全体が、経済成長を幸福の尺度とする価値観を変えなければ環境問題の解決は難しいのだらうと思います。

日本の未来

日本は、戦後急速に工業化を推し進めてきました。職場を求め、生まれ故郷を捨て、都市部に移り住みました。しかし今は、海外に工場が移転し始めたので、国内の雇用問題は深刻です。農業をやめて都市部に働きに出かけた結果、食料自給率は40%になってしまいました。食料を自給できない国に未来などありませんが、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）次第によっては、更に減少する可能性があります。政府は、「持続可能な社会を目指す」としていますが、打つ手は「付け焼刃」でしかなく持続は不可能です。

地方が主役の時代（地方の情報産業への期待）

「持続可能な社会の構築」には、エネルギー消費量を減らす事が前提になります。地方に権限を移譲して、人の分散をはかる必要がありますが、二地域居住（国交省）や参勤交代論（養老孟司氏）といった流れが起き始めています。地方にUIターンして「半農半X」的な仕事をした、と希望する若者も増えています。これらの若者を最初に吸収出来るのは情報産業です。国は六次産業化に期待を寄せています。六次産業の出口戦略には、情報ネットワークが必須です。既に、世界に冠たる高速通信網は、全国各地に整備済みです。多くの企業は、情報システムの開発についてテレビ会議等にて仕様確認をしています。信頼関係の構築が出来るなら、都市部で起業する必要はないのです。

島根の情報産業は、県の重点プロジェクトに組み込んでいただいたお陰で、誘致企業が増えて雇用も増加しています。今年度は、更に拍車をかける必要があります。地方に人が移動すれば、食料自給率は上がってエネルギー消費量は減少します。「風が吹けば桶屋が儲かる」式で、環境問題と情報産業の振興を同時に進めましょう。まだまだ話し足りませんが、それは別な飲み会の場で・・・（紙面が足りません。）

本年も成長を止めることなく、躍進の島根県情報産業協会にして参りますので、みなさまのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

中国地域経済活性化へ向けて

経済産業省

中国経済産業局長

井 辺 國 夫



平成23年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年の中国地域の経済は、雇用、設備投資等に厳しさが残っていたものの、鉄鋼、化学等の生産・輸出が堅調に推移しました。しかしながら、その後、急激な円高の影響により先行き懸念の中で年末を迎えました。

このような情勢の中、中国経済産業局では、多様な地域の発展モデルを見据えて「中国地域経済活性化プロジェクト2020」を策定するとともに、新たに環境・新エネルギー関連産業の企業立地支援や、中小企業の海外展開支援にも力を入れて参りました。

「日本経済は行き詰まっている。」今はその現状を直視し、グローバル化が進む経済で勝ち抜くため官民一体となって前進していく時代です。中国地域のさらなる前進と飛躍を実現するため、当局は以下の4分野の取組を全力で行って参ります。

第1に、「成長を支えるものづくり」として、自動車、太陽電池分野等の次世代型ものづくり拠点の形成を目指します。

第2に、「アジア・成長市場開拓」として、海外見本市への出展支援などを通じ、急成長するアジア等の活力を地域に呼び込むための支援を行います。

第3に、「低炭素社会形成」として、バイオマスや太陽光の活用等、CO₂削減と産業振興の両立を目指した取組を行います。

第4に、「地域の再生」として、農商工連携や商店街振興等により、個性ある自立した地域づくりの加速化を目指します。

昨年7月の当地への赴任以来、私が常に大事にしていることは、「コミュニケーション」、「国民目線」及び「視野の拡大」です。

「コミュニケーション」の重要性を認識し、活かすことで、地域を活性化し、常に「国民目線」の姿勢を意識することで、身近な中国経済産業局として地域活性化のお手伝いをしたいという心懸けを胸に、今後も業務に取り組む所存です。

そして、少子高齢化が進む中であって、国内の需要だけにとらわれず、海外の幅広いニーズに答えていく取組が今後ますます大切になってくると考えております。

中国地域は、ものづくりを始め、観光資源や地域産品を育む豊かな地域資源と、それを活かす人材を抱えた地域です。これらの資源を最大限に活かし、中国地域経済活性化のため、職員一丸となり尽くして参ります。

最後になりますが、本年の皆様の御多幸と御健康を心から祈念致しまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会・交流会開催

- ◆開催日時：平成22年11月9日(火)
15:00～18:40
- ◆開催場所：松江東急イン

平成22年度情報化月間行事として、講演会並びに交流会を松江東急インで開催しました。当日は、経済産業省中国経済産業局地域経済部 平井 信義参事官、島根県商工労働部 稲垣 克芳次長を来賓にお迎えし、講演会66名、交流会34名の出席を得て、有益な会になりました。

内容

1. 講演会 (15:00～16:10)

(1) 開会挨拶 (15:00～15:10)

(社)島根県情報産業協会 会長 多久和 厚

(2) 講演会 (15:10～16:10)

演題 「インターネットからクラウドコンピューティングへ」

講師 株式会社インターネットイニシアティブ 専務取締役 保条 英司 氏

2. パネルディスカッション (16:20～17:00)

テーマ 「知識情報化社会における島根の産業戦略」

パネラー 島根県商工労働部 次長 稲垣 克芳 氏

パネラー 株式会社ワコムアイティ 代表取締役社長 今岡 克己 氏

パネラー 株式会社インターネットイニシアティブ 専務取締役 保条 英司 氏

モデレータ 島根県情報産業協会 副会長 吉岡 宏

3. 交流会 (17:10～18:40)

1. 講演会



開会挨拶
(社)島根県情報産業協会
多久和会長

15時から開かれた講演会には、来賓、当協会会員、島根県関係者のほか市民など66名が参加。(社)島根県情報産業協会 渡部 勉総務企画委員長の司会進行で、主催者の多久和 厚会長の挨拶に続き、(株)インターネットイニシアティブ専務取締役 保条 英司氏から「インターネットからクラウドコンピューティングへ」と題して、講演が行われました。クラウドコンピューティングは、昨年が続いてのテーマとなりましたが、この2年間でク

ラウドの位置付けは、実際に導入を検討する段階へと変化してきたこともあり、参加者は熱心に聞き入っていました。



講師・保条英司氏



講演会

2. パネルディスカッション

講演会に続いて開かれたパネルディスカッションは、「知識情報化社会における島根の産業戦略」と題して開催。パネラーとして、講演者の保条 英司氏に、島根県商工労働部の稲垣 克芳次長、(株)ワコムアイティの今岡 克己代表取締役社長をまじえ、モデレータを当協会副会長 吉岡 宏が担当し行われました。



パネルディスカッション

3. 交流会

パネルディスカッションに引き続き開かれた交流会は、(社)島根県情報産業協会 総務企画委員会中島一衛副委員長の司会進行で、中国経済産業局平井信義参事官に来賓ご挨拶をいただき、(社)島根県情報産業協会 多久和 厚会長が乾杯。途中では、(株)インターネットイニシアティブ九州支社平尾一浩支社長に賛助会



交流会風景

員入会のご挨拶を、又、当協会顧問の松江高専藤井 諭教授からも近況報告をいただきました。最後は、全員で島根県民歌を合唱し、(株)ワコムアイティ今岡 克己代表取締役社長の中締めで、閉会いたしました。



来賓挨拶 平井信義氏



松江高専 藤井 諭氏

島根県知事 溝口善兵衛氏に 報告書を提出

平成22年9月21日多久和会長、吉岡代表、秀浦副会長、井上理事、宮崎事務局長が島根県庁で、島根県 溝口善兵衛知事に「平成22年度ソフト系IT関連従事者数アンケート調査報告書」を提出し、報告をしました。



アンケート結果を知事に報告

[調査結果概要]

売上額、雇用者数の調査結果（平成20年度と平成21年度の比較）は、微増となりました。

- 売上額は102%に増加
- 雇用者数は105%に増加

売上げについて

情報産業は年度単位の契約による影響が大きいいため、平成20年9月のリーマンショックの翌年度(21年度)に売上げ減の企業が増えています。しかし、多くの企業が雇用者を増加(5%)させているので、企業の健全性を保っており、今年度に期待が持てる内容となっています。

売上げが10%以上伸びた企業が10社、10%以上減少した企業が14社、横ばいが20社です。売上げ、雇用とも、平均値に大きく影響を与えている企業はありません。

雇用者について

3年間で県内従事者が120人、県外従事者が104人(合計224人)が増えています。他の産業と比較して雇用者は少ないのですが、採用においては、地元の高学歴者を積極的に採用しているため地元産業に対する貢献度は高いと考えています。

(各社の平均年齢は30歳～35歳と若い)

しまねソフト産業ビジネス研究会

県内ソフト系IT産業の発展と県外ビジネスの拡大を主な目的とし、島根県の支援を受けて平成20年6月に当研究会を立ち上げています。地域情報化委員会の下部組織として、協会活動と連携し活動しています。

- ・「しまねOSS研究所（会員企業）」と連携し、9月に中部IT協同組合の会員企業向けのビジネスマッチングに多数の企業が島根から参加しました。また、中部圏のソフト系IT企業の訪問を11月29日・30日に受けています。
- ・平成21年度に続いて、今年度もIT関連従事者数アンケート調査を実施しました。島根県への報告と共に、松浦松江市長（11月11日）・長岡出雲市長（11月12日）に調査結果の報告をしました。厳しい経済状況の中で、売上・従事者数が微増あるいは前年並みという報告に対し、いずれの市長からも高く評価を頂いております。
- ・県外ビジネスの拡大としては、(株)プロビズモを受け皿企業とした伊藤忠テクノソリューションズ(株)からの受注が実現しました。また、12月9日に島根県と包括契約を結んだイオングループとの連携ビジネスも推進しています。

RubyWorld Conference 2010開催



RubyWorld Conference 2010

Rubyアソシエーション、島根県、松江市、当協会など官民10団体で構成された実行委員会が主催した国際会議「RubyWorld Conference 2010」が9月6日、7日の両日、くにびきメッセで開催されました。昨年に引き続き、2回目の開催で、この国際会議では、Rubyに関する最新技術情報や、言語仕様の標準化の動向、先進的な活用事例などを紹介する様々なセッションを通じて、Rubyが、より多くの領域に普及していくことを目指し、25名の講演者による発表がありました。2日間の開催期間中には、国内外から1,108人が参加、昨年を若干上回る参加者数となりました。

第14回親睦ゴルフコンペ開催

当協会親睦ゴルフコンペが10月30日(土)、出雲空港カントリークラブで16社22名参加のもとで開催されました。当日は、あいにくの空模様となりましたが、参加者皆様の熱気と意欲で、会員相互の親睦とお客様との交流を深め、にぎやかで楽しい一日となりました。また、両備システム様、ワコムアイティ様、オネスト様、テクノプロジェクト様、島根情報処理センター様から多数協賛品を提供いただき、ドラコン賞、ニアピン賞はじめ、多数の賞品を用意することができ、盛大に表彰式も行うことができました。

成績は次のとおりです。

優勝	坂本 宏允さん	アルプロン製薬(株)
2位	長岡 西治さん	出雲空港カントリー倶楽部
3位	石碓 修二さん	(株)オネスト
ベスト スコア賞	長岡 西治さん	※スコア 81



参加者一同



表彰式

行事予定

平成23年 (社)島根県情報産業協会新年会

■開催日時：平成23年2月1日(火) 15:00～ ■会場：松江東急イン

- 第一部 新年講演会 (15:00～16:10)
 演題 「豊かな日本をどうやってつくるか =地方から考える=」
 講師 島根県知事 溝口 善兵衛 氏
- 第二部 新年懇親会 (16:20～18:30)
 新年ライブ「よしととひうた」

活動実績 (平成22年8月～平成22年12月)

- 平成22年9月6日(月)～7日(火)
 くにびきメッセ
 RubyWorld Conference 2010 開催
 島根県情報産業協会共催



研修会の様子

- 平成22年9月21日(火) 島根県庁
 島根県知事 溝口善兵衛氏に
 報告書を提出



報告風景

- 平成22年10月19日(火) 島根大学
 「クラウドコンピューティングセミナー」
 島根県情報産業協会後援



講師・ニフティ(株)山口亮介氏

- 平成22年11月9日(火) 松江東急イン
 平成22年度島根県情報産業協会情報化月間行事
 講演会
 島根県情報産業協会主催



講演会風景

- 平成22年11月27日(土) 松江テルサ
 「オープンソースカンファレンス2010shimane」
 島根県情報産業協会後援



カンファレンス風景

- 平成22年12月3日(金) 松江テルサ
 「アジャイルプロセス協議会
 第1回西日本フォーラムin島根」
 島根県情報産業協会後援



フォーラム風景

協会だより

賛助会員入会

(株)インターネットイニシアティブ
 住 所：広島市南区稲荷町2-16
 広島稲荷町第一生命ビルディング11F
 T E L：082-506-0700
 F A X：082-506-0701
 U R L：http://www.ij.ad.jp
 代表者：九州支社 支社長 平尾 一浩
 担当者：九州支社中四国支店営業課 竹政 幸洋

会員変更

協会代表者変更
 (株)島根電工(平成22年8月10日付 代表取締役交替に伴い)
 旧代表者 陶山 秀樹氏
 新代表者 荒木 恭司氏

社名変更
 バブ日立ソフト(株)(平成22年10月1日付 会社合併に伴い)
 旧社名 バブ日立ソフト株式会社
 新社名 バブ日立ビジネス株式会社
 新連絡先：住所・電話番号変更なし

株式会社アイテック

〒690-0823 松江市西川津町4210
代表取締役 宮川 則男
TEL 0852-24-5220 FAX 0852-27-7279



当社は1981年9月に設立し今年で満30年になります。

設立当時はまだパソコンの黎明期であり、地場企業もオフコン導入が盛んな時代でした。そのオフコンでの業務系システムの個別開発と運用支援を行ってまいりました。その中からLPG管理、建設原価管理等、業種別にパッケージ化を進めていき、さらに改良整備しPC版に置き換えながら地場ユーザを中心に導入推進してきました。

近年、新分野での他社プロジェクトへも参加させて頂いており、Ruby講習参加等、積極的に新技術の習得やスキルの向上を図っていきたく思っております。

当社のスタンスとして、今後も当地域を中心としたユーザ密着型のサポートをしていく形は変わりません。微力ですが、新しい取り組みをすることにより、クライアントに今まで出来なかったソリューション提案ができるよう、努力してまいります。今後共、よろしくお願い致します。

株式会社NTTファシリティーズ中国 島根支店

〒690-0003 松江市東朝日町102
支店長 野坂 賢治
TEL 0852-25-8000 FAX 0852-32-2813

NTTファシリティーズは、100年以上にわたりNTTを中心に全国21,000棟の建物、電源・空調システムの企画・設計、建設、維持管理にわたる幅広い業務を一貫して担ってきました。最近では、「地球環境の保護」と「高信頼の実現」という時流のニーズに対応するため、『環境とエネルギーのインテグレーター』として、建築・電力・IT分野の技術を融合し、『統合ファシリティサービス』として①「グリーンコンサルティング」②「メガソーラー」③「GreenITY Building」④「Fデータセンター」⑤「100年BCP」⑥「高機能ビルマネジメント」の6つのソリューションメニューをもとに、お客様にとって安心で信頼性の高いサービスを基本に、“最適なサービス”をワンストップで提供しています。さらにスマートグリッド時代のエネルギーとファシリティなどの新たな技術にも積極的にチャレンジし低炭素社会の実現を目指しています。

